

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	261	学校名	仙台市立南吉成中学校	校長名	登嶋 紀行
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 テーマ『未来を見据えて』



2 取組の紹介

●残食を減らす取組

本校では昨年度に引き続き、給食の残食を減らすための取組を行っています。今年度は給食センターの方をお招きして、食事の大切さや残食について考えることができ、残食という課題を意識・改善させることができました。

また、給食委員会による呼びかけや、災害用のアルファ米を活用した食育等も例年通り実施しました。



献立を一緒に考える生徒たち



講話を聞く生徒たち

●職場体験で学ぶゴミの処理・分別（2学年）

今年度から職場体験が再開し、多くの生徒が様々な職場を訪問しました。訪問先の中にはゴミ処理場施設や仙台市環境局があり、働く体験を通してゴミの処理方法や分別・リサイクルの重要性と意義について理解を深めることができました。後日、学年内では職場体験を通して学んだことや、現代社会の問題や課題等に関する内容の発表会が行われ、生徒たちはこれからの生活や取組について深く考えることができました。



ゴミ処理の仕事について学ぶ生徒



ゴミからバッテリーを取り出す生徒



発表会に臨む生徒

●環境問題から考える取組（3学年）

本校ではSDGsを意識した授業づくりを各教科の特性に合わせて行っています。特に、理科では「環境問題」に重点を置き、問題の原因の追求や、それらを解決するための取組・対策等の調べ学習を行うことで、生徒の環境問題に対する意識を高めています。

また、私たちの生活は環境問題に大きな影響を与えているため、生徒たちが「今の私たちにできること」について話し合う場を設け、これからの未来について考えさせています。



調べ学習を行う生徒



発表し合う生徒

3 取組の成果（児童生徒の変容）

今年度はコロナ禍による制限もなくなり、以前のような活動を行うことができました。また、あらゆる分野からSDGsなどにも焦点を当てることができ、多くの生徒が「自分たちの未来に向けて今すべきこと」について考えることができました。